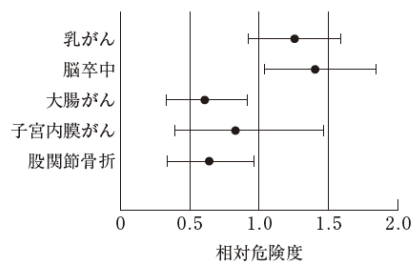


104-123

問題文



※ バーは 95% 信頼区間を示す。

- 1. 乳がんの発症リスクは、有意に増加した。
- 2. 脳卒中の発症リスクは、有意に増加した。
- 3. 大腸がんの発症リスクは、有意に増加した。
- 4. 子宮内膜がんの発症リスクは、有意に減少した。
- 5. 股関節骨折の発症リスクは、有意に減少した。

解答

2, 5

解説

選択肢 1 ですが
95 % 信頼区間が 1 をまたいでいるため、有意にリスクに変化があったとは判断できません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが
有意に「減少」です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
95 % 信頼区間が 1 をまたいでいるため、有意にリスクに変化があったとは判断できません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 2,5 です。